



育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 Tel 227-1972

- 1 深夜はいかい・非行防止
 - 公園、駅周辺、遊技場等でのはいかい少年への声かけ、商業施設等での万引き防止ネットトラブル防止
- 2
 - スマートフォン、SNS等の安全・安心な利用の啓発、ペアレントコントロールの推進



「思いをめぐらす想像する力」の育成を



「午前の声かけ活動で中央駅周辺を巡視していたら、スマホを見ている高校生に出会った。話を聞くと、『友達もいなくて、あまり学校に行きたくない。登校時間をずらして登校している』と話した」と、青少年育成委員(常時)から報告を受けました。数は多くありませんが、これまでも似たような青少年の報告を受けてきました。その度に、学校に行きたくても行けず、友人関係に悩む青少年の姿が目につかび、いたたまれない思いに駆られてきました。また、新聞等でいじめや誹謗中傷を受けいたなど、青少年の記事を読むたびに、悲しい気持ちになっていました。

このように、友人関係に悩み、苦しんでいる青少年が多くいるのではないかと考えます。今月は、「いじめ問題」に焦点を当て考えてみたいと思います。

まず、「いじめ問題」の現状(小・中・高・特別支援学校の認知件数合計)を調べてみますと、平成27年度からは毎年約10万件ずつ認知件数が増え、令和元年度は63万件を超える件数が認知されていました。次に、「いじめの態様推移(件数)」を調べてみました。すると、これまでの「いじめ問題」の態様と変わらず「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が、どの年度も最も多い結果になっていました。

これらの結果から、各学校は早期発見に力を入れ、「いじめ問題」に真摯に取り組み、未然防止に努力していることが分かりました。その中で考えさせられたことは、「なぜ、こんなにもいじめ対策に力を入れて取り組んでいるのに、いじめが起こってしまうのだろうか?」ということでした。

やはり、子どもたち一人一人が、自分の発する言葉や態度で、友達をどんな気持ちにさせ、周りにどんな影響を与えるかという想像する力(思いをめぐらす力・思いやりの気持ち)が、まだ十分に身に付いていないのではないかと考えます。

我々は、県人権同和教育課が推奨する子どもたちに向き合う基本姿勢として、「子どもの事実を知るために『見つめる』」「子どもの気持ちに『思いをめぐらす』」「子どもから見えてきた課題に『向き合う』」(Mom)を基に人権教育に取り組んでいます。

この姿勢で子どもたちと向き合うことはもちろんのことですが、子どもたち一人一人に「友達の気持ちに思いをめぐらし、大切に接する言葉かけや態度」が身に付くように、更に努力していくことが大切ではないかと考えます。人の気持ちを想像しながら行動する力は、真の大人になるために必要な力であると考えます。

適度な緊張感をもった新年度を



4月を迎えると新しい空気が漂い、人々は適度の緊張感をもちながら、「よし、新年度もやるぞ」という新たな希望に満ちあふれた気持ちで日々を過ごしているのではないのでしょうか。私は、4月の新年度を迎えるたびに恩師から聴いた話を思い出します。それは、「イワシとナマズの話」です。イワシ漁で生計を立てている漁師たちがいました。生きたイワシは高値で取り引きされるため、港まで生かして運びたいのですが、どう工夫してもうまくいきません。ところが、1隻だけイワシを生きたまま港に運んでくる船がありました。その漁師に話を聞いてみますと、「イワシを入れる船底にナマズを入れておくだ」と答えたそうです。さらに漁師は続けて、「イワシだけを船底に入れて運ぶと緊張がないので、自然に弱ってしまうが、ナマズを入れておくと、イワシに緊張が与えられ泳ぎ回るので、生きたまま港に運べるのだ」と。

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症と向き合いつつ、対面による生活が難しい日々が予想されます。そのような中でも、私たち育成委員一人一人が「心のナマズ」を育て、これまで同様に青少年の健全育成に向けて「適度な緊張感」を与えられる存在になり、青少年を守っていききたいものです。

いじめ防止啓発強調月間の推進について

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、人権尊重教育の根幹を揺るがす深刻な問題でもあり、「鹿児島市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、その未然防止、早期発見、早期解消に取り組んでいただいているところです。

そこで、市教育委員会では、児童生徒がいじめのない楽しく思いやりのある学校生活を送れるように、本年度も下記の1か月間を「いじめ防止啓発強調月間(ニコニコ月間)」に設定しました。

記

- 1 主催 鹿児島市教育委員会
- 2 実施期間 5月25日(水)～6月25日(土)
- 3 取組内容



- (1) 各学校で、児童生徒一人一人が自らいじめ防止に関心や意識を深められるように、児童会・生徒会活動を通して、いじめ防止について主体的に取り組む。
- (2) 市立の小・中・高校生からいじめ防止をテーマとするポスターと標語を募集し、児童生徒の「いじめ防止」に対する理解と認識を深め、あわせて地域・社会への啓発を図る。

【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 3月の声かけ人数 856(279) 前年同期 1,030(436)

◇ 3月の学職別声かけ人数 ()は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	78(21)	285(87)	479(163)	6(0)	0(0)	0(0)	848(271)
その他	5(5)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	8(8)
合計	83(26)	288(90)	479(163)	6(0)	0(0)	0(0)	856(279)
前年度比	▲5(▲3)	▲95(▲79)	▲74(▲72)	0(▲3)	0(0)	0(0)	▲174(▲157)

◇ 3月の地区別声かけ人数 ()は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	379(130)	44.3%
天文館	92(63)	10.7%
谷山	356(83)	41.6%
上町	0(0)	0.0%
鴨池	27(3)	3.2%
伊敷	2(0)	0.2%
その他	0(0)	0.0%
合計	856(279)	100.0%

○ 3月のゲームセンターは、小・中・高校生の同級生グループが多かった。卒業の思い出づくりとしてゲーム場に来ている雰囲気だった。中には、卒業・進学のお祝い袋からお金を両替している子どもおり、「お祝いのお金だから、あまりゲームには使わない方がいいよ」と声を掛けた。

○ ゲーム店で、私服の男女3人グループに声をかけた。3人は、中学校2年生であることは素直に話したが、学校名はいくら聞いても答えてくれなかった。1人が、「学校には行っていない」と冗談ととれる態度で話し、他の2人も「本当ですよ」と認めたので、「仲の良い友だちが2人もいるから、学校へ行けるように助け合うんだよ」などと助言

した。すると、「はい」と素直に答えた。3人は、「これから用事がありますので」と言って、早々に出て行った。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和4年1月～3月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	17(11)	16(2)	0(0)	0(0)	3(1)	11(2)	0(0)	0(0)	3(2)	50(18)	▲2(5)
西署	5(3)	12(2)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	19(7)	▲7(4)
南署	5(0)	8(0)	0(0)	0(0)	0(0)	8(4)	0(0)	0(0)	0(0)	21(4)	▲6(2)
人数合計	27(14)	36(4)	0(0)	0(0)	3(1)	20(7)	1(1)	0(0)	3(2)	90(29)	▲15(11)
割合	30.1%	40.0%	0.0%	0.0%	3.3%	22.2%	1.1%	0.0%	3.3%	100.0%	
当月発生計	9(8)	20(3)	0(0)	0(0)	0(0)	7(2)	0(0)	0(0)	3(2)	39(15)	※当月発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	0(0)	2(1)	3(0)	0(0)	2(0)	0(0)	7(1)	2(1)	2(0)
西署	0(0)	2(0)	7(0)	0(0)	2(0)	0(0)	11(1)	2(▲1)	2(0)
南署	3(1)	2(0)	1(1)	0(0)	1(0)	1(0)	8(2)	▲5(0)	3(0)
人数合計	3(1)	6(1)	11(1)	0(0)	5(0)	1(0)	26(4)	▲1(0)	7(0)
割合	11.5%	23.1%	42.3%	0.0%	19.2%	3.8%	100.0%		
当月発生計	1(1)	6(1)	5(2)	0(0)	4(0)	1(0)	17(4)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- 3月に市内小学校(1校)で防犯教室を実施した。5月に、市内中学校(1校)で非行防止(インターネット関係)をTT指導で実施する予定である。また、5月居場所づくり活動として大学生ボランティア(現在募集中)にも協力してもらいながら、海釣り公園で釣り活動を予定している。
- サイバーパトロール活動は継続中であるが、相変わらず不適切な書き込み等が見られ、年々注意喚起メッセージを送信することが多くなっている。
- 本年度から中央駅周辺を巡視する補導職員(退職職員)が配置された。